

心がなごやかになっていていくとともに、かし子は、しっかりと勉強にはげむようになりました。特に物語を読むのが好きでした。英語や漢文で書かれた物語を、手あたり次第に読んでいききました。

英語の学力もどんどん上達しました。

入学後六カ月ほどたったクリスマス前の試験では、そのころ、生糸につぐ輸出品だったお茶について、自分で英語の文を作り、それを朗読したほごでした。寝言も英語でいうほどだったといわれています。

